

申請者	(株)県庁設備										
許可番号	3	9	-	0	0	5	9	6	3		

頁数 頁

技術職員数 人 現場代理人数 人 その他の職員数 人 合計 人

番号	技術職員	現代理	その他	技術単 位 研修 数	氏名		資格取得年月日等		有資格区分コード			実務経験 担当業種	日給制の場合		備考
					生年月日	確認方法							20日 以上	年間 出勤日数	
1	○				高知 大助	H10.4.1	1	1	3	2	3	0			
					R・H・S・T 30年4月2日生	健康保険被保険者証									
2	○				高知 次郎	H10.4.1	0	0	2			0	1		
					R・H・S・T 31年5月2日生	健康保険被保険者証									
3	○			6	高知 三郎	H16.4.1	1	1	3						
					R・H・S・T 32年6月2日生	健康保険被保険者証									
4	○				土佐 一男	H12.4.1							6	210	
					R・H・S・T 30年4月2日生	雇用保険被保険者証									
5	○				土佐 竜馬	H12.4.1							8	230	
					R・H・S・T 39年8月1日生	雇用保険被保険者証									
6		○			土佐 花子										
					R・H・S・T 10年9月8日生	賞金台帳(一年分)									

R・H・S・Tのいずれかを選択する。年 月 必ず(一年分)を記入する。

○有資格区分コードについて
 ・解体工事業の経審を受審された事業者は、経審と同様に、手引きP2-87~89を参照し、アルファベットのついた附則第4条該当の資格か、附則第4条該当ではないアルファベットのついていない資格を記入する(その技術者が解体工事を担当するか否かに関わらず、アルファベットのついた資格か、アルファベットのついていない資格か、どちらの資格に該当するか確認し、記入する。)
 ・解体工事業の経審を受審していない事業者は、これまで通り、アルファベットの無い資格コードを記入する。

○資格取得年月日等、確認方法について
 ・確認方法はできる限り健康保険被保険者証でお願いします。
 ・確認方法で賞金台帳(一年分)を選んだ場合は、資格取得年月日等は記入不要。
 ○個人の代表者について
 ・資格取得年月日等→記入不要
 ・確認方法→「代表者」と記入

注意事項

- ①技術職員、現場代理人、その他(業務経理担当者等)の該当する欄に○印を入れてください。(出向者は除く)
- ②採用年月日の確認方法について記入してください。(雇用保険取得証、健康保険被保険者証等)
- ③日給者は、次のいずれかの条件を満たしていれば、常時雇用されている者として扱います。
 ○審査基準日前日以前の1年間(令和2年10月1日から令和3年9月30日までの間)において、
 ・20日以上勤務した月数が6ヶ月以上あること。
 ・年間出勤日数が200日以上であること。
 (中途採用の場合は、「総出勤日数>200日×雇用月数/12月」を満たしていること。)
- ④技術研修単位数欄は各自の単位数を記入し、その合計を右の技術研修単位数合計に記入すること。
 必ず地域点数審査調査書の項番7の単位数と一致すること。

技術研修
単位数合計 単位